放送用語委員会（東京）

# 用語の決定

平成28（2016）年5月20日（金）に，NHK放送センターで第1403回放送用語委員会が開催された[1)]。同月25日に，新しい『アクセント辞典』である『NHK日本語発音アクセント新辞典』（以下『アクセント新辞典』）が発行された。今回の用語委員会では，これまでの『NHK日本語発音アクセント辞典』（以下『98年版辞典』）掲載語のうち，語形を変更した語について報告した。そのほか，『アクセント新辞典』で新たに掲載された語の中で，語形のゆれがあると思われる語についても一部報告した。

『アクセント新辞典』には，放送のことばとして理解されやすく，安心して使うことができると思われる読みを示した。現在，日本語で行われている読みをすべて示したわけではない。『アクセント新辞典』に掲載されている読み以外，放送で使ってはいけないというわけではなく，番組の取材や制作意図によって，番組ごとの判断として，別の読みを使うこともあると考える。また，固有名詞については，辞典掲載の形とは関係なく，その固有名詞として定まった読みを放送で使うことになる。

今回報告した語は「1. 発音・表記を変更・追加した語」に示したとおりで，『アクセント新辞典』にはこの内容で掲載ずみである。

なお，発音を変更・追加した語は，いずれも発音をカタカナで示した（「甚平」を除く）。また，『98年版辞典』では，発音を「エイ」「ケイ」「セイ」などと表記しているが，ここでは『アクセント新辞典』に合わせて「エー」「ケー」「セー」とした。外来語以外の語は，ひらがな表記とは異なるカタカナ表記になっているものがある。＊印の語は，常用漢字表に含まれない漢字や常用漢字表に含まれない音訓が使われている語である。放送では，原則として漢字表記しない語である。

## 1. 発音・表記を変更・追加した語

### A. 過去の「用語の決定」を変更した語

（1）「借地借家法」
　シャクチシャッカホー
　（これまで　シャクチシャクヤホー）[2)]

（2）「ねじり鉢巻き」「ねじ鉢巻き」
　①ネジリハチマキ　②ネジハチマキ
（これまで　①ネジハチマキ　②ネジリハチマキ）

### B.『アクセント新辞典』に新しく立項した語のうち語形にゆれのある語

（1）中国料理「小籠包」*の発音・表記
　ショーロンポー

（2）イスラム教徒が食べてもよいとされる食品など「Halāl」の発音・表記
　○ハラル　○ハラール

（3）料理用語「purée」の発音・表記
　○ピュレ　○ピューレ

（4）「financial planner」の発音・表記
　①ファイナンシャルプランナー
　②フィナンシャルプランナー

（5）アイスホッケー「face-off」の発音・表記
　フェイスオフ

（6）「柚子胡椒」*
　①ユズコショー　②ユズゴショー

（7）「routine」の発音・表記
　○ルーチン　○ルーティン　○ルーティーン

## C.『98 年版辞典』に掲載されていた語形を変更した語

### C-1-1　和語・漢語・混種語の語形

歴史的な語や，仏教語などの専門語で，2つ以上の語形があり，どの形が優勢とも言えないような場合，複数の語形をそのまま示した。語形の違いで使い分けがある語は，意味を示して，両方の語形を掲載した。
専門語の辞典の掲載や教科書の掲載を調べたうえで，考えられる読みを示すようにした。

（1）「揚羽蝶」*
アゲ゛ハチョー（虫）
アゲ゛ハノチョー（家紋）[3)]
（これまで　○アゲ゛ハチョー　○アゲ゛ハノチョー）

（2）「雲版」
ウンパン　（これまで　ウンバン）

（3）「円為替」「ドル為替」
①～カワセ　②～カ゛ワセ
「逆為替」の読み　ギャクカ゛ワセ
（これまで　○～カワセ　○～カ゛ワセ）

（4）「円匙」*
○エンシ　○エンピ　（これまで　エンピ）

（5）○追いかけ回す［オイカケマワス］
○追っかけ回す［オッカケマワス］
（これまで　オッカケマワス）

（6）置いてきぼり（～を食う）［オイテキボリ］
（これまで　置いてきぼり　置いてけ堀（地名））

（7）○お香こ［オコーコ］
○お香々［オコーコー］（これまで　オコーコ）

（8）「海人草」
①カイニンソー　②カイジンソー
（これまで　○カイジンソー
○カイニンソー）

（9）○かくれんぼ　○かくれんぼう
（これまで　かくれんぼう）

（10）「被衣」*
○カズキ　○カツキ゛（これまで　カツキ゛）

（11）①願かけ［ガンカケ］
②願がけ［ガンカ゛ケ］（これまで　ガンカ゛ケ）

（12）「細螺」*
（おはじきなどに使われる巻き貝のこと）
○キサコ゛　○㋭シャコ゛
（これまで　㋭シャコ゛）

（13）「警策」
○キョーサク　○ケーサク
（［キョーサク］は表外音訓）（これまで　キョーサク）

（14）「魚鼓」*　ギョク
「魚板」　ギョバン
（これまで　①ギョバン　②ギョク）

（15）「薬食い」
○㋗スリクイ　○㋗スリク゛イ
（これまで　㋗スリクイ）

（16）「黒穂」「黒穂病」
○クロホ　○クロボ
○クロホビョー　○クロボビョー
（これまで　クロホ，クロホビョー）

（17）「軽便鉄道」
○ケーベンテツドー
（地域によっては「ケービンテツドー」）
（これまで　ケーベンテツドー）

（18）「懈怠」*
（仏教）　○ケダイ　○ゲタイ
（法律）　①カイタイ　②ケタイ
（これまで　○ケタイ　○ゲタイ　○ケダイ）

（19）「原板」
①ゲンバン　②ゲンパン
（これまで　ゲンバン）

（20）「後世」
（～に名を残す）　コーセー
（来世）　ゴセ
（これまで　（来世）コーセー，ゴセ）

（21）「ご破算」
○ゴハサン　○ゴワサン
（これまで　ゴハサン）

（22）○胡麻の蠅*［ゴマノハエ］
○護摩の灰　［ゴマノハイ］
（これまで　ゴマノハエ）

（23）「魚釣り」
①サカナツリ　②ウオツリ
（これまで　○ウオツリ　○サカナツリ）

（24）「三宝柑」*
○サンポーカン　○サンボーカン
（これまで　サンポーカン）

（25）（漢字）○しんにょう　○しんにゅう
（これまで　しんにゅう）

（26）「甚平」*（服飾）
○じんべい　○じんべえ
（発音はいずれも［ジンベー］）
（これまで　じんべい［ジンベー］）

（27）「大逆事件」
○タイキ゜ャクジケン　○ダイキ゜ャクジケン
（これまで　ダイキ゜ャクジケン）

（28）「太政官」「太政大臣」
○ダイジョー～　○ダジョー～
（これまで　ダジョー～）

（29）「逐電」
○チクデン　○チクテン
（「チクテン」は表外音訓）（これまで　チクテン）

（30）「月読み」（月のこと）
○ツキヨミ　○ツクヨミ
（「ツクヨミ」は表外音訓）（これまで　ツキヨミ）

（31）「鉛中毒」
ナマリチュードク（これまで　エンチュードク）

（32）「肉桂」*
（植物）ニッケー
（～のあめ玉）○ニッキ　○ニッケ
（これまで　①ニッケー　①ニッケ　②ニッキ）

（33）根っから［ネッカラ］
（これまで　○ネカラ　○ネッカラ）

（34）「盤台」
○ハンダイ　○バンダイ
（「ハンダイ」は表外音訓）（これまで　ハンダイ）

（35）「氷魚」
○ヒウオ　○ヒオ　（これまで　ヒオ）
（「ヒオ」は表外音訓）

（36）○吹きさらし［フキサラシ］
○吹きっさらし［フキッサラシ］
（これまで　○吹きさらし　○吹きっつぁらし）

（37）「法主」
○ホーシュ　○ホッシュ　○ホッス
（これまで　①ホッシュ　①ホッス　②ホーシュ）

（38）○放っておく［ホーッテオク］
○ほっとく［ホットク］
（これまで　ほっておく）

（39）「糒」*○ホシイ　「干し飯」○ホシイー
（「ホシイー」は表外音訓）
（これまで　糒，乾し飯［ホシイ］）

（40）「補綴」*
○ホテー　○ホテツ　（これまで　ホテツ）

（41）「結い綿」（髪）
①ユイワタ　②イーワタ
（「イーワタ」は表外音訓）
（これまで　○イーワタ　○ユイワタ）

（42）「弓弦」
（「ユズル」「ユンズル」は表外音訓）
○ユズル　○ユミズル　○ユンズル
（これまで　①ユズル　①ユミズル　②ユンズル）[4)]

（43）「横倒し」
①ヨコダオシ　②ヨコタオシ
（これまで
①ヨコタオシ　①ヨコダオシ　②ヨコッタオシ）

（44）表記の変更　中継ぎ，中継ぎ貿易
（これまで　中継ぎ，仲次ぎ（業），仲継ぎ貿易）

### C-1-2　促音の有無

漢語の促音化は，語構成によって検討し，①②をつけるなどした。また，その際には「放送で使うことば」である点も考慮した。
和語の促音の挿入は，時代や地域を感じさせる場合もあり，一部，促音なしの形に統一した。

（1）①男っ気［オトコッケ］
②男気［オトコケ］
（これまで　○オトコケ　○オトコッケ）

（2）①女っ気［オンナッケ］
②女気［オンナケ］
（これまで　○オンナケ　○オンナッケ）

（3）「各界」
①カクカイ　②カッカイ
（これまで　カクカイ）

（4）「くも膜下出血」
①クモマッカシュッケツ
②クモマクカシュッケツ
（これまで　クモマッカシュッケツ）

（5）「激化」[5)]
①ゲキカ　②ゲッカ
（これまで　○ゲキカ　○ゲッカ）

（6）「劇作家」
①ゲキサッカ　②ゲキサクカ
（これまで　○ゲキサクカ　○ゲキサッカ）

（7）「激高」
①ゲッコー　②ゲキコー
（これまで　ゲッコー）

（8）「著作家」
①チョサクカ　②チョサッカ
（これまで　○チョサクカ　○チョサッカ）

（9）「著作権」「著作権法」
①チョサクケン～　②チョサッケン～
（これまで　○チョサクケン～
○チョサッケン～）

（10）山っ気［ヤマッケ］
（これまで　①ヤマケ　①ヤマッケ　②ヤマキ゛）

## C-2　外来語を含む語の語形

2つ以上の語形があり，どの形が優勢とも言えない語については，複数の語形をそのまま示した。やや古い語形で，今は，あまり使われていないものは削除し，現在よく使われる語形を示した。語形による使い分けがあるものや一般的な語形と専門的な語形とが異なるものは，その両方を示した。以下に示すカタカナ表記は，発音ではなく，外来語としての表記である。実際の発音では，母音の無声化などが起こる場合がある。発音については『アクセント新辞典』のそれぞれの立項を参照のこと。

（1）ガッシュ（美術）（これまで　グアッシュ）

（2）①カロテン　②カロチン
（これまで　カロチン）

（3）○キネマ　○シネマ
（これまで　①キネマ　②シネマ）

（4）グレゴリオ暦　（これまで　グレゴリー暦）

（5）①クレッシェンド　②クレシェンド
（これまで　クレッシェンド）

（6）クロス（布）（これまで　クロース）

（7）コーリャン（植物）
（これまで　①こうりゃん　②こうりょう）

（8）コーンスターチ
（これまで　コーンスターチ，コンスターチ）

（9）①コルチゾン　②コーチゾン
（これまで　コーチゾン）

（10）サイフォン　（これまで　サイホン）

（11）○サクソフォーン　○サクソフォン
（これまで　サクソフォン）

（12）ジステンパー
（これまで　ジステンパー
（犬の病気）ディステンパー）

（13）○シャベル　○ショベル
（これまで　シャベル）

（14）スルタン　（これまで　サルタン）

（15）ダイアローグ　（これまで　ダイヤローグ）

（16）タッグマッチ　（これまで　タグマッチ）

（17）①タンバリン　②タンブリン
（これまで　タンバリン）

（18）○ツァー
○ツァーリ（ロシア皇帝の称号）
（これまで　ツァー）

（19）デュース（テニス）　（これまで　ジュース）

（20）○投げキッス　○投げキス
（これまで　投げキス）

（21）パッド，肩パッド
（これまで　パット，肩パット）

（22）○ファクス　○ファックス
（これまで　ファックス）

（23）プラットフォーム（コンピューター，放送）
プラットホーム（駅の～）
（これまで　プラットホーム）

（24）ボディー　（これまで　①ボデー　②ボディー）

（25）○ミキサー　○ミクサー
（放送などの音量調節者）（これまで　ミクサー）
「混合機」の意味の場合は「ミキサー」のままとする。

（26）○メンソール　○メントール
（これまで　メンソール）

（27）「羅宇」「羅宇竹」「羅宇屋」
○ラウ　○ラオ
○ラウダケ　○ラオダケ
○ラウヤ　○ラオヤ
（「ラオ」の「オ」は表外音訓。「ラオス」を語源とするため，外来語）　（これまで　○ラオ　○ラオダケ　○ラオヤ）

（28）①レンジャー　②レインジャー
（これまで　レインジャー）

（29）表記の変更
ラー油　（これまで　ラーユ）

## 2. 資料および議論

1の語のうち，「A. 過去の「用語の決定」を変更した語」の2語と，そのほか，「B.『アクセント新辞典』に新しく立項した語のうち語形にゆれのある語」「C.『98年版辞典』に掲載されていた語形を変更した語」から議論になった語の資料を示す。A-(1)，B-(1)，C-2-(10)などの記号は，pp76～79の各語にふった番号を指す。

A-(1)「借地借家法」
シャクチシャッカホー　に変更

▼読みを変更する理由

NHK放送用語委員会では「シャクチシャクヤホー」の読みで決定をしたが，法律用語を中心に現在では，「シャクチシャッカホー」の読みが使われることが多い。

「シャッカ」の読みは法律名「借地借家法」の場合のみとする。そのほか，「借家」関連の語はいずれも「シャクヤ」のままとする。

■ポイント■

何回か用語委員会で審議されており，当初は「～シャッカホー」で決められたが，のちに「～シャクヤホー」と決定が変更された。

調べた国語辞典では「借地借家法」での読みはいずれも「～シャッカホー」をとっていた。また，『法律用語辞典』では「～シャッカホー」で示されており，国会審議での音声でも「～シャッカホー」と読まれる場合がほとんどである。ただし，『98年版辞典』にはこの語の立項はない。

▼参考資料

① これまでの用語の決定

第678回放送用語委員会(昭43.12.12)
○シャクチシャッカホー
×シャクチシャクヤホー

漠然とした「シャクヤ」でなく，法律上厳密な意味がつけられた用語であるから，法律用語としての読み方「シャッカ」を使う。

第1101回放送用語委員会(平3.9.21)
○シャクチシャクヤホー
×シャクチシャッカホー

「借地借家法」は「借地法」と「借家法」の2つの法律をあわせた言い方である。

法律関係者独特の読み方としては，「シャッカ」もあるが，「借りて住む家」の「借家」の読みが通用しているために，「シャクヤ」のほうがわかりやすいので，法律の呼び方も「シャクヤ」に統一する。

② 調査結果

(「ことばのゆれ」調査，平3.4.11～16，全国満20歳以上の男女2,000人。調査有効数：1,433人)
Q．下線のことばをふだんどう言っていますか。
「このたび新しく『借地・借家法』が改正される。」

シャッカホウ …… 48%
シャクヤホウ …… 48%
その他 …… 0%
わからない …… 4%

③ 専門語の扱い

『有斐閣　法律用語辞典』(第2版・平5)
借地借家法(しゃくちしゃっかほう)

「国会審議映像検索システム」[6]
→発言を確認できた数17件中
「シャクチシャッカホー」16件
「シャクチシャクヤホー」1件

④ 辞書の掲載[7]

・「借地借家法」
シャクチシャッカホー：
日国，大辞林，岩波，新明解，三国

＊「岩波」「新明解」は「シャクヤ」「シャッカ」両方の見出しがあり，「シャッカ」の見出しに「借地～法」の用例がある。

＊「三国」は「岩波」「新明解」と同様だが，「シャッカ」の項目は「法律」という分野名がついている。

・「借家」
シャクヤ(主見出し)，シャッカ(空見出し)：
日国，日本語新辞典，大辞林，明鏡，例解
○シャクヤ，○シャッカ：
岩波，新明解，新選，三国

＊「大辞林」は関連語「借家権」「借家人」は「シャクヤ」のみ。

＊「日本語新辞典」「例解」は，「シャクヤ」の項目に，「法令では「しゃっか」と読みならわしている」という説明がある。「借地借家法」は用例にもなし。

●ネット検索[8]

| | | |
|---|---|---|
| “借地借家法(しゃくちしゃっかほう)” | 347件 | 73% |
| “借地借家法(しゃくちしゃくやほう)” | 129件 | 27% |

●用語委員意見

「シャクチシャッカホー」の読みに変更することには異論がなかった。

井上由美子委員から，「～シャッカ」と読むのは「借地借家法」の場合のみということだが，「借地借家に関する特別法」というような場合はどうなるのだろうか，という意見があった。そのほか，部内委員からも，『日国』に，「借地借家法」は「～シャッカ」の読みで掲載され，「借地借家調停」「借地借家調停法」は「～シャクヤ」で掲載されている。同じ「借地借家」でも，言い方や法律名が微妙に違う場合はどう扱うべきか，という質問があった。事務局としては，いずれも法律に関連したことばであり，「シャクチシャッカホー」を準用して「～シャッカ」の読みで問題はないだろうと答えた。

A -（2）「ねじり鉢巻き」「ねじ鉢巻き」

①ネジリハチマキ　②ネジハチマキ　に変更

▼優先する読みを変更する理由

古い調査でも，「ネジリハチマキ」の読みが多くなっている。現代の国語辞典でも「ネジリハチマキ」を主見出しとするものが多いことから，『アクセント新辞典』でも，第1読みを「ネジリハチマキ」とする。なお，『NHK漢字表記辞典』は，すでに「ねじり鉢巻き」で立項している。

■ポイント■

伝統的には「ネジハチマキ」である[9]。

これまでにも用語委員会で議題にされている語で，何回かの調査を行っている。いずれも「ネジリハチマキ」が多い結果だが，伝統的な読みを優先させてきた。

▼参考資料

① これまでの用語の決定

第 512 回放送用語委員会（昭 37.6.28）

①ネジハチマキ　②ネジリハチマキ

（○ネジハチマキ　×ネジリハチマキ　から変更）

『NHK 漢字表記辞典』（平 23）

ねじり鉢巻き

（「ねじ鉢巻き」は記載なし。『NHK新用字用語辞典』（昭56・3版まで同様）では，「ねじ鉢巻き」を主見出しに「ねじり鉢巻きとも」と説明している）[10]

② 調査結果

・昭和 38 年「館山・東京調査」

ネジハチマキ：9%，ネジリハチマキ：84%

＊館山と東京の中学 2 年生と，その父母を対象に行った面接調査

・昭和 38 年「放送のことば第 1 回アンケート」

ネジハチマキ：33%，ネジリハチマキ：65%，どちらでもよい：1%

＊有識者，小・中・高校の教師および一般視聴者 379 人を対象に行った調査（郵送記述式）

・昭和 58 年「発音のゆれアンケート」

ネジハチマキ

有識者：13%，大学生：1%，高校生：3%，アナウンサー：8%

ネジリハチマキ

有識者：87%，大学生：99%，高校生：97%，アナウンサー：92%

＊有識者，大学生，高校生の各 100 人と NHK アナウンサーに郵送記述式で行った調査

③ 辞書の掲載

ネジハチマキ：

（主見出し）岩波，新選，新明解アク

（空見出し）日国，大辞林，三国

（語釈中）日本語新辞典，明鏡，例解新明解

ネジリハチマキ：

（主見出し）日国，日本語新辞典，大辞林，明鏡，例解，新明解，三国，新明解アク

（空見出し）岩波，新選

＊「大辞林」は「ネジハチマキ」にも用例をつけているが，主見出しは「ネジリハチマキ」。

＊「新選」は「ネジハチマキ」に 2 つの意味を示している。「ねじった手ぬぐいを頭に巻き，額で結んだもの」という意味には，「ネジリハチマキ」の語形もあることを示している。しかし，「熱心に仕事に取り組むようす」という意味には，「ネジリハチマキ」の語形を示していない。

●ネット検索

| | | |
|---|---|---|
| “ねじり鉢巻き” −ねじ鉢巻き | 3 万 8,100 件 | 99% |
| “ねじ鉢巻き” −ねじり鉢巻き | 285 件 | 1% |

●用語委員意見

特に異論なく，提案どおり承認された。

B -（1）「小籠包」の発音と表記
ショーロンポー

▼採用理由

読み方は［ショーロンポー］の形で定着していると考えられる。また，外来音であると考え，カタカナ表記とする。

■ポイント■

中国のものは，地名・人名と同様で，漢字表記で漢字の日本字音読みを原則とする。一方，原音または，原音どおりではないが，外来語として定着しているものについては，漢字表記を使わず，カタカナ表記にしている（例:ウーロン茶，シューマイ，ギョーザ，チャーハン，トウバンジャン，マーボー豆腐　など)。「ショーロンポー」もこうした語のひとつと考えられる（「小籠包」を音読みしたわけではない)。

「ショーロンポー」の読みは，中国語の原音に近い発音・表記とは言えないが，上海のことばに近い発音であると言及する資料もある[11)]。

▼参考資料

① 専門語の扱い

『改訂調理用語辞典』
（平10・調理栄養教育公社）
シヤオロンパオ
『きょうの料理』HPレシピ集
小籠包（ショーロンポー）

＊『きょうの料理』では，中国料理の調味料や料理の名称は，「漢字（原音読み)」で示すルールにしている。

② 用語委員会で検討した中国料理関連の語（決定のある語）[12)]

第1235回放送用語委員会（平14.6.27）
トウバンジャン（発音はトーバンジャン）
第1244回放送用語委員会（平15.2.27）
ウーロン茶，ギョーザ，
シューマイ，マーボー豆腐
第1391回放送用語委員会（平27.6.26）
杏仁豆腐（あんにんどうふ）

③ 辞書の掲載

ショーロンポー：三国

＊三国：別語形として「シャオロンパオ」を語釈に入れている。

④『アクセント新辞典』に掲載した中国料理関連の語（②で示した語以外）

ジャージャー麺，タンメン，チャーシュー麺，チンジャオロースー，テンメンジャン，ホワジャオ，ラーメン，ラオチュー　など

●ネット検索

| | | |
|---|---|---|
| “ショーロンポー”（−ショウロンポウ，ショーロンポウ） | 3万8,800件 | 2% |
| “ショーロンポウ”（−ショウロンポウ，ショーロンポー） | 5,740件 | 0% |
| “ショウロンポウ”（−ショーロンポウ，ショーロンポー，パチンコ） | 12万4,000件 | 7% |
| 小籠包（−ショーロンポウ，ショーロンポー，ショウロンポウ） | 168万件 | 91% |

＊「ショウロンポウ」はパチンコの名称で使われることも多い

●用語委員意見

『アクセント新辞典』には「ショーロンポー」だけで立項されている。「ショウロンポウ」などの表記は示されないことになり，辞書の利用者は使いにくいのではないか，という意見があった。この語は「小」と漢字表記されることがある。そう考えると「ショウ」という見出しがあったほうがひきやすいのではないか。両方の表記を見出しとして立てて，片方を空見出しにするなどの工夫があってもいい，ということである。今回欠席の笹原宏之委員からは，「ショーロンポー」が上海方言由来であるという点について，賛成であるという意見があった。事務局としても，「ショーロンポー」は現代中国語からの外来語であると考え，見出しをカタカナにした。また，外来語の場合，二重母音［ou］は，原則として長音符号（ー）を使って書くことにしているため「ショー」とした。しかし，「ショウ」でひくという人もいると思う。ひきやすさの工夫については，今後，継続して検討すると答えた。

B -（7）「routine」の発音と表記
ルーチン，ルーティン，ルーティーン

▼採用理由

「ルーチンワーク」などで定着してきたが，最近は「ルーティン」または，より原音に近い「ルー

ティーン」の形も現れている。

使われる場面や使う人によって，発音・表記が異なるのが現状であり，今のところは，3つの形を採用しておくことにする。

なお，「ルーティーン」の形は現在，マスコミなどではあまり使われていないが，原音に近いということで，今後増える可能性がある。

**■ポイント■**

『NHKことばのハンドブック第2版』には「ルーチン」で掲載されている。英語などの「ti」の発音・表記は「ティ」を原則に，慣用が定着しているものは「チ」を使っている。「ティ」が多くなってきているが，「チ」で定着しているものも多い。原音に近い発音は「ルーティーン」。

同じ語でも，場面によっていくつかの発音・表記が見られる。「流行語大賞2015」のトップテンとして「五郎丸（ポーズ）」が選ばれ，説明の中では「ルーティン」の表記が見られる。

**▼参考資料**

**① 新聞社・通信社の扱い** [13)]

新聞協会，朝日，産経，時事：
　ルーチン（スポーツではルーティンとも）
読売：ルーチン（シンクロではルーティン）
毎日，共同：ルーティン

**②辞書の掲載**

ルーチン：（主見出し）日国，日本語新辞典，大辞林，明鏡，例解，岩波，新明解，新選，三国
ルーティン：（主見出し）新選
（空見出し）大辞林，三国
（語釈中）日国，日本新辞典，明鏡，例解，新明解
ルーティーン：（主見出し）なし
（空見出し）三国
（語釈中）大辞林

**③ 専門語の扱い（流行語も含む）**

シンクロナイズドスイミングの種目名
テクニカルルーティン，
フリールーティン

**第32回ユーキャン新語・流行語大賞（発表文）**

2015トップテン「五郎丸（ポーズ）」
（「五郎丸ポーズ」の説明に下記の記載がある）
そのジャパンウェーの象徴として人気を集めたのが，五郎丸選手が行う$\boxed{\text{ルーティン}}$のポーズ。

**●ネット検索**

| | | |
|---|---|---|
| “ルーチン”（−ルーティン，ルーティーン） | 58万7,000件 | 34% |
| “ルーティン”（−ルーチン，ルーティーン） | 60万6,000件 | 35% |
| “ルーティーン”（−ルーチン，ルーティン） | 52万6,000件 | 31% |

**●用語委員意見**

町田健委員から，「ルーティーン」は，確かに原音に近い発音ではあるが，この発音・表記を使う人や場面があるのだろうか，という意見があった。

事務局としては，外来語は原音に近い形で使われることも多くなってきており，『アクセント新辞典』に新規で掲載するのであれば，原音に近いものも掲載したほうがいいと考えた。しかし，「ルーティーン」の形ではマスコミなどに使われていないのは確かである。このままにするか削除するかは，引き続き使われ方を見て検討したいという考えを説明した。

C-2-（10）

**「サイホン」を「サイフォン」　に変更**

**▼変更理由**

「サイホン」は機械工学の専門語として使われることがある。一方，「コーヒー〜」など，一般的に使われる場合は「サイフォン」となることが多い。『アクセント新辞典』に掲載する形としては，一般的な語として「サイフォン」とした。

**■ポイント■**

原語に「phon」「phone」がつく語は，「ホン」の発音・表記をとるものが多い。流入年代が新しいと考えられるものを中心に「フォン」が出始めている（例：スマートフォンなど）。

「サイホン」と「サイフォン」とで，使われる場面が異なり，コーヒーの場合は「サイフォン」，圧力計など工学で使われる部品としては「サイホン」が多い。「サイホン」のほうが専門語として使われることが多いと考えられる。

▼参考資料

① 専門語の扱い

・『学術用語集（機械工学編）』（増訂版・昭60）サイホン

・『工学教科書２級ボイラー技士テキスト＆問題集』（平27・翔泳社）サイホン管

・UCC，キーコーヒーなど　サイフォン

② 原語「phon」で「～フォン」「～ホン」の語（『98年版辞典』掲載語）[14)]

「フォン」：サクソフォン，シロフォン，ビブラフォン

「ホン」：イヤホン，インターホン，キャッチホン，サイホン，マイクロホン，テレホン，プッシュホン，ヘッドホン，メガホン

③ 辞書の掲載

サイホン：（主見出し）日国，日本語新辞典，大辞林，明鏡，例解，岩波，新明解，新選，三国，新明解アク

サイフォン：（主見出し）新選

（空見出し）日国，日本語新辞典，大辞林，岩波，新明解，新明解アク

（語釈中）明鏡，例解，三国

●ネット検索

| | | |
|---|---|---|
| “サイホン”（－サイフォン） | 33万3,000件 | 17% |
| “サイフォン”（－サイホン） | 157万件 | 83% |

| | | |
|---|---|---|
| “コーヒーサイフォン”（－コーヒーサイホン） | 55万7,000件 | 99% |
| “コーヒーサイホン”（－コーヒーサイフォン） | 3,110件 | 1% |
| “サイフォンの原理”（－サイホン） | 2万2,600件 | 71% |
| “サイホンの原理”（－サイフォン） | 9,400件 | 29% |

●用語委員意見

「サイホン」も残したほうがいいのではないか，という意見があった。事務局からは『アクセント新辞典』には一般的な語形を掲載し，「サイホン」のように現代では専門語として使われている語形は掲載しなかったことを説明した。井上史雄委員からは，「専門用語だから入れずにおくのと，専門用語だから残しておく，両方の立場があるだろう。専門用語で使われる場合に，専門用語でこう言っているから，それを尊重すべきだという考え方も出てくる。「サイホン」には注釈をつけるなどして掲載する方法もある」という意見が出された。今回はひとまず「サイフォン」のみを立項した。「サイホン」の扱いについては，今後検討することとする。ただし，「サイホン」の立項がないといっても，「サイホン」を放送で使わないというわけではない。分野によっては「サイホン」の形で使うこともある。

C-2-（15）

「ダイヤローグ」を「ダイアローグ」　に変更

▼変更理由

国語辞典の掲載や，一般の使用（表記）から考えて「ダイアローグ」で使われる場面が多いと考え，「ダイアローグ」とした。

■ポイント■

第1388回放送用語委員会で，外来語の「ア」「ヤ」について提案・決定があり，「ア」を基本とすることにした[15)]。

「dial」は，新聞社・通信社なども「ダイヤル」をとっており，慣用が定着していると考え，これまでどおりとする。

▼参考資料

① 語の意味（『大辞林』）

対話。特に，劇や小説中の人物の言葉のやりとり。また，対話劇。

② 専門語の扱い

『演劇百科大事典』（昭59・平凡社）

ダイアローグ

③ 外来語の発音と表記の原則

イ列・エ列の次の「ア」

（『NHKことばのハンドブック第2版』平17・最新版は14刷）

イ列・エ列の次の「ア」または「ヤ」の音は，次のように扱う。

(1) 原則として「ア」と書く。

〈例〉ピアノ piano，イタリア Italia（地），ヘア hair，デイケア day care

(2) 慣用により「ヤ」と書くものがある。

〈例〉タイヤ tire，ダイヤル dial，イヤホン earphone[16)]

④「ダイヤ」「ダイア」関連の語
（『98年版辞典』掲載語）
ダイヤ，ダイヤグラム，ダイヤモンド，ダイヤル，ダイヤルイン，ダイヤローグ　など

⑤ 辞書の掲載
ダイアローグ：
日国，日本語新辞典，大辞林，明鏡，例解，岩波，新明解，新選，三国
ダイヤローグ：なし

＊「日国」で「ダイア／ダイヤ」関連の語は，「ダイアローグ」「ダイアリー」以外「ダイヤ」をとっている。
＊各辞書ともに「ダイア」を主見出しにしているのは「ダイアローグ」「ダイアリー」のみ。そのほかは「ダイヤモンド」「ダイヤグラム」「ダイヤル」など「ダイヤ」を主見出しにしている。
＊「三国」は「ダイアローグ」を主見出しに，語釈に「ダイアログ」を示している。

●ネット検索

| | | |
|---|---|---|
| “ダイアローグ”（－ダイヤローグ） | 121 万件 | 99% |
| “ダイヤローグ”（－ダイアローグ） | 7,600 件 | 1% |

●用語委員意見
井上由美子委員から，「演劇の現場では「ダイアログ」という長音のない形で使われることが多く，「ダイアログライター」などの形で使われる」という意見があった。事務局としては，国語辞典の掲載などから「ダイアローグ」が一般的な語形であると判断した。もともと専門語として使われる語である。専門語として使われる場合「ダイアログ」の形が多いということであれば，この形も追加するかどうかを検討していきたい。

C-2-（16）
「タグマッチ」を「タッグマッチ」　に変更

▼変更理由
放送で聞く発音や新聞社・通信社の表記から，現在は「タッグマッチ」の形で使われていると考えられる。このほか，追加語として「タッグ（～を組む）」も掲載した。また，「付け札」「目印」などの意味の「tag」は「タグ」として掲載した。

■ポイント■
「外来語の発音・表記」の原則では，原音の発音に促音に聞こえる音が含まれない場合は，「ッ」を用いないことを原則にしている。そのため，『98年版辞典』では「タグマッチ」としていた。新聞社・通信社では「タッグマッチ」を使用。放送では，プロレス中継やゲームに関連した話題で［タッグマッチ］または［タックマッチ］に聞こえる発音を使っている。
原音の発音には促音に聞こえる音が含まれない場合で，外来語に促音が挿入されるにはいくつかの条件がある。しかし，いずれも例外が多い[17]。

▼参考資料
① 外来語の促音挿入
つまる音（ッ・促音）の発音と表記
(1) 外来語として促音を入れて発音・表記することが一般化している語は小書きの「ッ」を入れて書き表す。
アップリケ appliqué，アップル apple，
キッチン kitchen，シャッター shutter
(2) 外来語として促音を入れずに発音・表記することが一般化している語は，促音を入れずに書き表す。
キス kiss，アピール appeal，
アクセサリー accessory
注　新しく使われるようになった外来語は，現代では促音をつけずに発音される傾向がある。当面，促音をつけずに発音・表記することとし，変化してきた場合には別途検討する。

＊上記は第 1364 回および第 1368 回放送用語委員会（平 24.12.7，平 25.3.1）で話し合った内容である[18]。『NHK ことばのハンドブック第 2 版』で示されている説明とは異なる。
＊地名や人名もここに示した原則をもとに，新聞社・通信社の表記に合わせている場合が多い。

促音が入ることも多いが，NHKとしては促音を入れない形をとっているものに，
チューリヒ（地名），ディートリヒ（人名），
ヒトラー（人名）
などがある。
一方，促音がない形も多く使われるようになっているが，NHKとしては促音を入れる形をとっているものに，
オックスフォード（地名），

チャップリン（人名），ヘップバーン（人名）などがある。

② 外来語の促音の有無について検討および変更した語

（用語の決定）

第 1235 回放送用語委員会（平 14.6.27）

キッチン

（台所の意味の場合。もとは　キチン）

第 1294 回放送用語委員会（平 19.2.23）

アベレージ（もとは　アベレッジ）

第 1364 回放送用語委員会（平 24.12.7）

アップリケ（もとは　アプリケ）

第 1388 回放送用語委員会（平 25.2.20）

ボブ（ヘア）（もとは　ボッブ）

（『アクセント新辞典』で変更して掲載した語）

投げキッス

（もとは　投げキス。「キス」はそのまま）

○ファックス　○ファクス

（もとは　ファックス）

カッペリーニ（追加語），

カルパッチョ（追加語），

コロッセウム（追加語。コロッセオも掲載）

など

③ 新聞社・通信社の扱い

タッグマッチ：産経，共同

④ 辞書の掲載

タッグマッチ：（主見出し）日国，日本語新辞典，明鏡，例解，新明解，新選，三国

（空見出し）大辞林

タグマッチ：（主見出し）大辞林，新選

（空見出し）新明解

（語釈）三国

＊「岩波」には「tag match」の立項はない。「tag」が「タグ」で立項されており，語釈に「タッグとも」と説明がある。

＊「新明解」は「主見出し」としたが「タッグマッチ」での立項はない。「タッグ」の立項のみ。語釈に「タッグマッチ」という語が示されている。

●ネット検索

| | | |
|---|---|---|
| “タッグマッチ”－タグマッチ | 56 万 3,000 件 | 99% |
| “タグマッチ”－タッグマッチ | 7,820 件 | 1% |

＊プロレスのほか，ゲームで使われている。いずれも「タッグマッチ」が多く見られる。

●用語委員意見

特に異論なく承認された。

山下洋子（やました ようこ）

注：

1）第 1400 回放送用語委員会は『放送研究と調査』に報告を掲載していない。平成 28 年 2 月 26 日に NHK 放送センターで開催された。1400 回という区切りの会であることと，『アクセント新辞典』発行直前であることから，『アクセント新辞典』について説明する会とした。内容は，『放送研究と調査』平成 28 年 7 月号「18 年ぶりの改訂で誕生『NHK 日本語発音アクセント新辞典』～アクセント記号や見出しの立て方も一新」の説明と同様である。出席委員は，青木奈緒委員，井上史雄委員，井上由美子委員，荻野綱男委員，笹原宏之委員，清水義範委員。

2）用語委員会の決定はあるが，『98 年版辞典』には掲載されていない。

3）「あげはちょう」「あげはのちょう」は，『アクセント新辞典』には，関連づけなしでそれぞれ立項した。「追いかけ回す」「追っかけ回す」，「魚鼓」「魚板」，「ほうっておく」「ほっとく」も同様。

4）ひらがな表記は「ゆづる」「ゆみづる」「ゆんづる」となるが，読む場合は「づ」は［ズ］の発音。

5）「劇化」は「ゲキカ」のまま。

6）国会での発言で「借地借家法」ということばがある部分を検索した。政策研究大学院大学国会審議映像検索システム（http://gclip1.grips.ac.jp/video/）

7）調べた国語辞典は次のとおり。『日本国語大辞典第 2 版』（平 13・小学館），『日本語新辞典』（平 17・小学館），『大辞林第 3 版』（平 18・三省堂），『明鏡国語辞典第 2 版』（平 22・大修館），『現代国語例解辞典第 4 版』（平 22・小学館），『岩波国語辞典第 7 版新版』（平 23・岩波），『新明解国語辞典第 7 版』（平 24 ・ 三省堂），『新選国語辞典』（平 25 ・ 小学館），『三省堂国語辞典第 7 版』（平 26・三省堂），『新明解アクセント辞典第 2 版』（平

26・三省堂)。本文では,「日国」「日本語新辞典」「大辞林」「明鏡」「例解」「岩波」「新明解」「新選」「三国」「新明解アク」という略称を使った。

8) Google の検索オプション,「語順を含め完全一致」で検索。平成 28 年 7 月 22 日に検索し直したものを掲載。

9)『大辞泉第 2 版』(平 24・小学館)には上一段動詞の「ねじる」と,五段動詞の「ねじる」の立項がある。いずれも意味は同じ。上一段の「ねじる」は「現在は,単独で用いられることは少なく,「ねじ切る」「ねじ込む」のように複合動詞の形で用いられる」と説明されている。五段動詞の「ねじる」は,「近世以降,上二段動詞「ねず」が四段にも活用するようになったもの」と説明がある。「ねじ鉢巻き」は,上二段「ねづ(ねず)」の連用形「ねじ」+「鉢巻き」。または,上一段「ねじる」の連用形「ねじ」+「鉢巻き」とも考えられる。「ねじり鉢巻き」は,五段「ねじる」の連用形「ねじり」+「鉢巻き」。

10)『NHK 新用字用語辞典第 3 版』(平 16)p.429 参照

11) 京都外国語大学付属図書館『学生と図書館』「私のお勧めの料理(2)小籠包は故郷の味 −上海小籠包− 」(陸妮娜)http://www.kufs.ac.jp/toshokan/bibl/bibl211/pdf/211-28.pdf

12) 山下洋子(2002)「第 1235 回放送用語委員会報告」,山下洋子(2003)「第 1244 回放送用語委員会報告」,山下洋子(2015)「第 1391 回放送用語委員会報告」。いずれも『放送研究と調査』掲載。

13)『新聞用語集(2007 年版)』(日本新聞協会,平 19),『朝日新聞の用語の手引』(平 22),『毎日新聞用語集』(平 25),『読売新聞用字用語の手引』(平 26),『産経ハンドブック』(平 24),『記者ハンドブック』(共同通信社・平 22),『用字用語ブック』(時事通信社・平 18)を調べた。

14)『98 年版辞典』に掲載されている「phone」「phon」関連の語で「フォ」のものは,楽器のみ。これは音楽の専門語として「フォ」が使われているためである。そのほかの「ホン」はいずれも,「テレホン」「イヤホン」に関連したもので,古くから「ホン」で定着しているもの。新語で「smartphone」は「スマートフォン」。

15) 山下洋子(2015)「第 1388 回放送用語委員会報告」『放送研究と調査』第 65 巻第 5 号 p.87

16) NHK で「ヤ」の表記にしているものは,新聞社・通信社でも「ヤ」を使っており,慣用が定着していると考えられる。

17) 外来語で促音挿入にはいくつかの条件があるが,例外も多い。例えば以下のようなものである。

・促音は[p]や[k]のような無声子音の前では生じるが,[b]や[g]などの有声子音の前では生じにくい。

例:タップ,ロック　　タブ,ログ

・[ʃ]や[x]の前では促音が生じるが,[s]や[f]の前では生じにくい。

例:プッシュ,マックス　　バス,パフ

ただし,[s]や[f]がいつも促音化を引き起こさないわけではなく,レッスン,ハッスル,ワッフルなど,語末に「ン」や「ル」が生じる環境では[s]や[f]も比較的自由に促音化する。

・長母音や二重母音の後ろでは,促音は生じない。

例:カーブ,バイク

・促音は一つしか生じず,しかも語末のほうにしか生じない。

例:ピクニック

いずれの場合も例外がある。

＊[x]の前でも,促音が入ったり入らなかったりとゆれがあるものがある。

例:ダイナミックス,ダイナミクス
パラドックス,パラドクス

促音なしで定着したものでは「アベノミクス」などがある。

18)『放送研究と調査』の「放送用語委員会報告」には示されていないが,外来語の促音の有無についてはこの考え方をもとに語ごとに検討するというのが現在のやり方である。

## (参考文献)

「日本語の促音とアクセント」(窪薗晴夫・平 23,『国語研プロジェクトレビュー No.6』「共同研究プロジェクト紹介・日本語レキシコンの音韻特性」)

**第 1403 回放送用語委員会(東京)**

【開催日】平成 28 年 5 月 20 日(金)
【出席者】青木奈緒 氏,井上史雄 氏,井上由美子 氏,荻野綱男 氏,清水義範 氏,町田健 氏
鈴木郁子 NHK 放送文化研究所長 ほか